

平成28年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第四中学校第3学年

	学力調査から見えた課題(調査のない教科は授業における課題)	授業改善のための具体策(重点)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の結果からみると、特に、「読むこと」、「言語についての知識理解技能」の理解はかなり高いと感じられるが、それに比べ、「書く」力の育成に力を入れていく必要性を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様々な場面や作文指導等、「書く」機会を意識的に増やすよう心掛ける。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な学習内容の定着 ・数学的な思考、表現力の育成 ・関数領域の学習内容を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時や課題等で基本的な計算問題の演習に取り組ませ、基本事項の習熟を図る。 ・数学的な思考、表現力を身に付けさせるために以下に取り組んでいく。 ①自分の考えを発表し伝える活動を行う。 ②レポートにより、個に応じて思考の過程や表現力を評価する。 ・関数領域の指導では、既習内容を振り返ったり、既習の内容と比較しながら、理解を促していく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで考えようとする姿勢の育成 ・表現力及び資料活用力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に「なぜ」という疑問から発し、当事者意識を持った思考ができるよう教材の選定や発問のあり方をさらに工夫する。 ・多様な資料等を活用し、思考・判断したことを「分かりやすく話す・書く」指導を徹底する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験の結果を科学的に考察し、文章で表現する力が弱い。 ・資料を読みとる力が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験結果の考察の仕方について、適切な助言を行って、文章で表現できる力を身につけさせる。 ・課題を解決するためには、どの項目に注目するのかなど資料の見方を丁寧に指導する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲はあるが、豊かな表現力に結びつかない生徒が多い。 ・自分の感性や思いを人に伝えることに抵抗を感じ、消極的になってしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現を通して音楽が人の心を動かす喜びを味わい、鑑賞を通して音楽が人に与える感動を味わえるよう、声掛けをし、体感させる。 ・音楽がもつ特性など根拠に基づいて感じ取ること、そこから感じ取れることはそれぞれであることを学び、生涯音楽を愛好する心情を育てる。
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・美術の授業を通して学んだことを、生活や人生における生きる力につなげていく考え方。生涯にわたって美術を愛好していこうとする心情の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・条件の厳しい色彩構成を設定して、これからの人生で不可欠な「ルールの中での自己表現」を学ばせる。また、自由な発想・材料・加工で行うBOX ARTの制作から「自由と責任」に気付かせる。そして、1、2年生で学んだ美術文化についての学習や鑑賞も振り返り、生涯にわたって美術的な要素と深く関わっていくことを学ばせる。
保健体育	<p>(男子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎運動能力が低い。 ・競争心が低い。 <p>(女子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な運動能力が低い。 ・集団行動や安全に関する行動及びリーダーを中心とする自主的な活動が身につけていない。 	<p>(男子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アップ、補強運動、ダッシュ、メイン練習等で運動能力向上を図る。 ・ゲームを通して向上心、競争心を育てる。 <p>(女子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の補強運動の中に柔軟性、敏捷性、全身持久性の種目中心に取り入れていく。 ・全体指導とグループ活動の中で、効率よい行動やリーダー及び仲間を尊重する態度を育てる。
技術・家庭	<p>(技術科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工具を使って材料を削ったり、切断したり、研磨をしたりという経験が不足している。特に金属材料については、小学校ではほとんど扱っていないこともあり、金属を加工するような経験はほとんどない生徒が多い。 <p>(家庭科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや意見をあまり発言しない。 ・提出物に対する意識に差がある。 	<p>(技術科)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1つの教材を年間を通じてじっくり取り組ませることで、金属材料を加工して、硬い材料であっても少しずつ姿を変えていく様子を実感できるように工夫していく。 <p>(家庭科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言するまで待つ。自信を持たせるようにする。 ・提出するまで本人に促す。
外国語(英語)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや簡単な質問に対する答えを表すのに時間がかかる。 ・語彙力や文法的な知識を使いこなしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な英語の質問をし、英語で答えることに慣れる活動をする。 ・既習事項を用いて英作文をしたり、英語でコミュニケーションをとったりする機会を増やす。